

問16は、問15で1に○印をつけた方のみにお聞きします。

問16 今後、地域社会のどのような活動に役立てたいですか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 126人

<今回調査>

自らの学習成果を地域社会に役立てたいと答えた人に、どのような活動に役立てたいか質問したところ、全体では「文化、スポーツに関する活動」が34.1%と最も高く、以下「社会福祉に関する活動」が26.2%、「災害援助活動」「自然・環境に関する活動」が22.2%、「公共施設での活動」が21.4%となっています。

男女別に見た場合、男性は「文化、スポーツに関する活動」が47.3%と最も高く、以下「自然・環境に関する活動」34.5%、「災害援助活動」22.2%、「交通安全に関する活動」20.0%となっています。女性は「社会福祉に関する活動」35.8%と最も高く、以下「公共施設での活動」25.4%、「各種学習、教室の指導、援助、協力などの活動」20.9%、「文化、スポーツに関する活動」19.4%となっています。

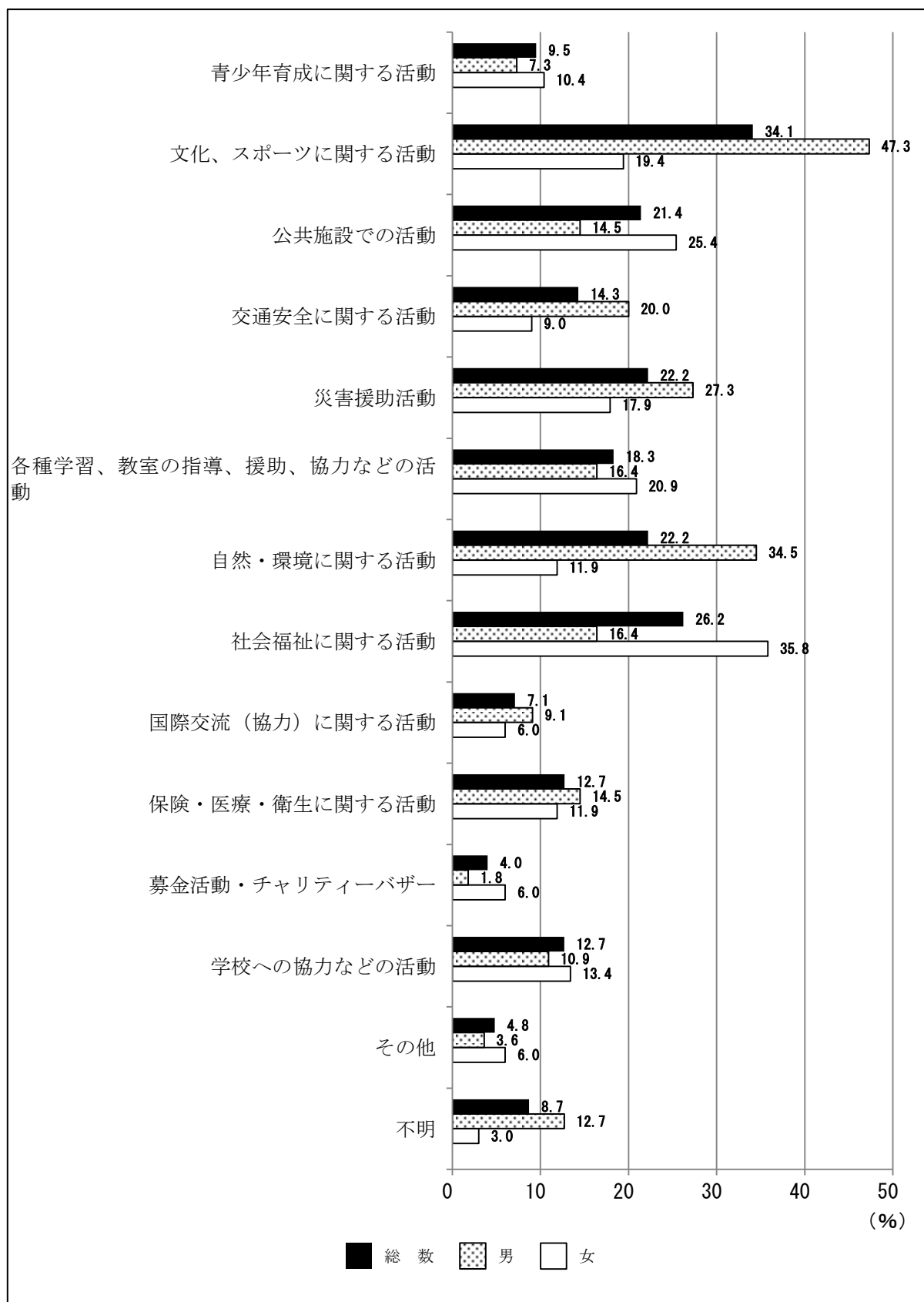
年齢別に見た場合、50歳代は「社会福祉に関する活動」が最も高く、その他の年代は「文化、スポーツに関する活動」が最も高くなっています。次に20歳代では「公共施設での活動」、30歳代は「社会福祉に関する活動」、40歳代は「災害援助活動」「自然・環境に関する活動」、60歳代は「災害援助活動」、70歳以上では「交通安全に関する活動」となっており、世代ごとの関心の違いがうかがえます。

<他の調査との比較>

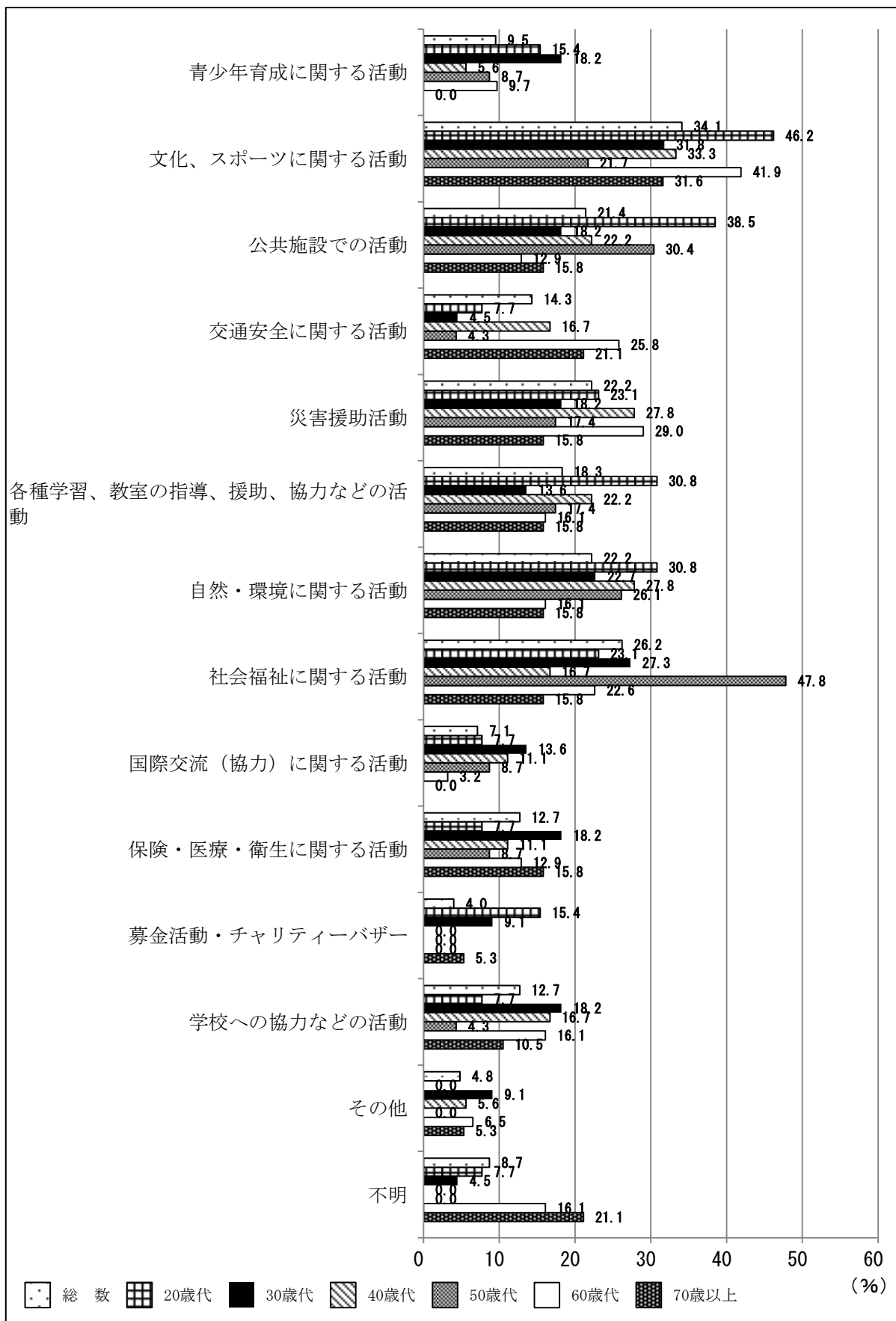
県が行った調査では、「文化活動（伝統芸能・行事の伝承・保存、文化財の保存・紹介など）」が33.3%と最も高く、以下「スポーツ活動（スポーツ指導、健康増進活動やスポーツ行事の支援など）」が29.9%、「地域自治の推進に関する活動（自治会・老人クラブ・婦人会等の活動など）」が26.4%、「教育への支援活動（子ども会への協力、学校教育への協力）」が25.1%、「環境保護活動（地域美化、自然保護）」が21.6%、「地域の安全を守る活動（交通安全、地域巡回など）」が18.2%、「福祉活動（募金、養護施設への支援など）」が17.7%となっています。

県と比べて、三条市では文化・スポーツに関する活動や社会福祉に関する活動に役立てたい人が多いことがわかります。

<性別>



<年 代 別>



問17は、問15で2に○印をつけた方のみにお聞きします。

問17 その理由は何ですか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

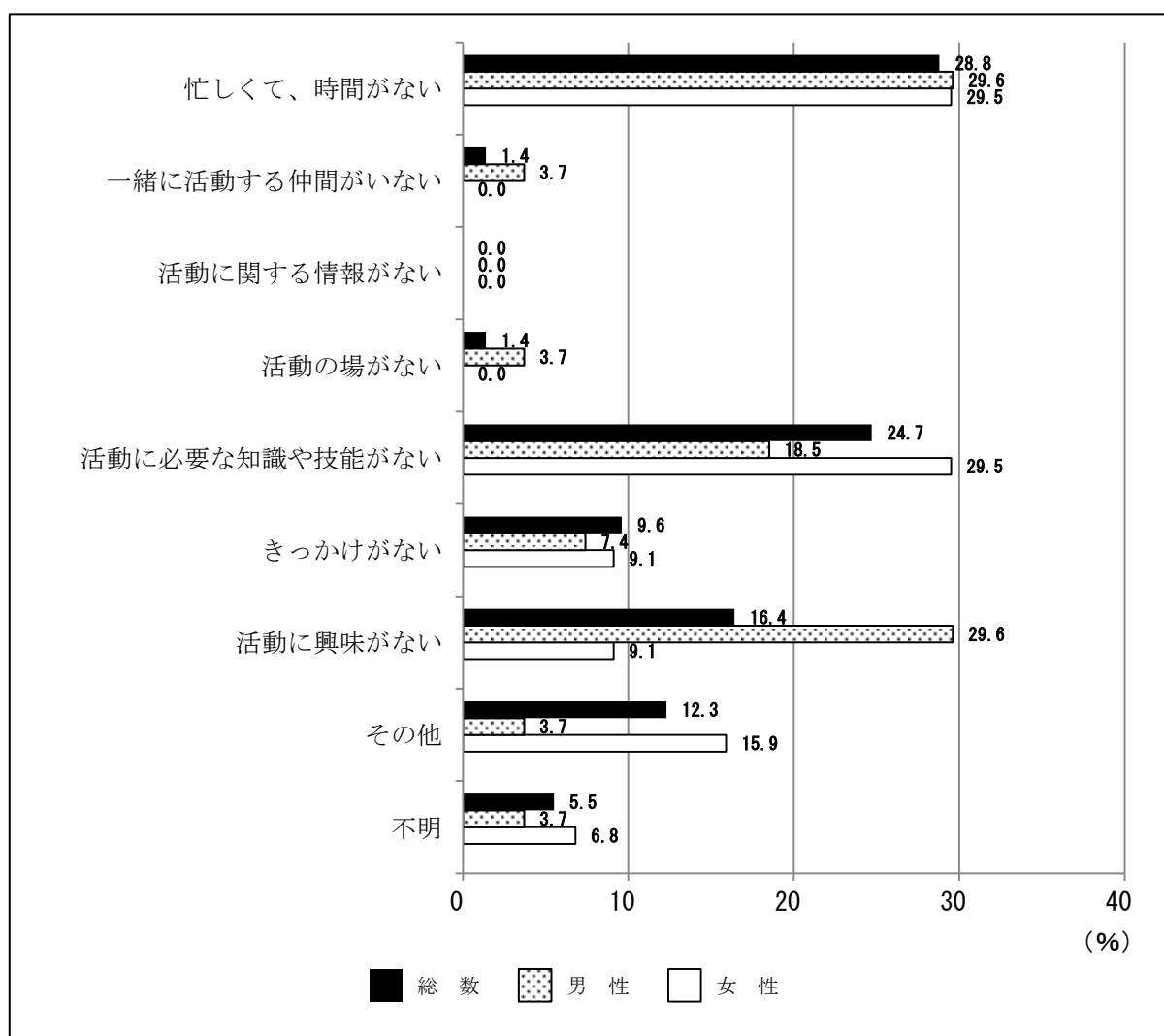
回答者数 73人

<今回調査>

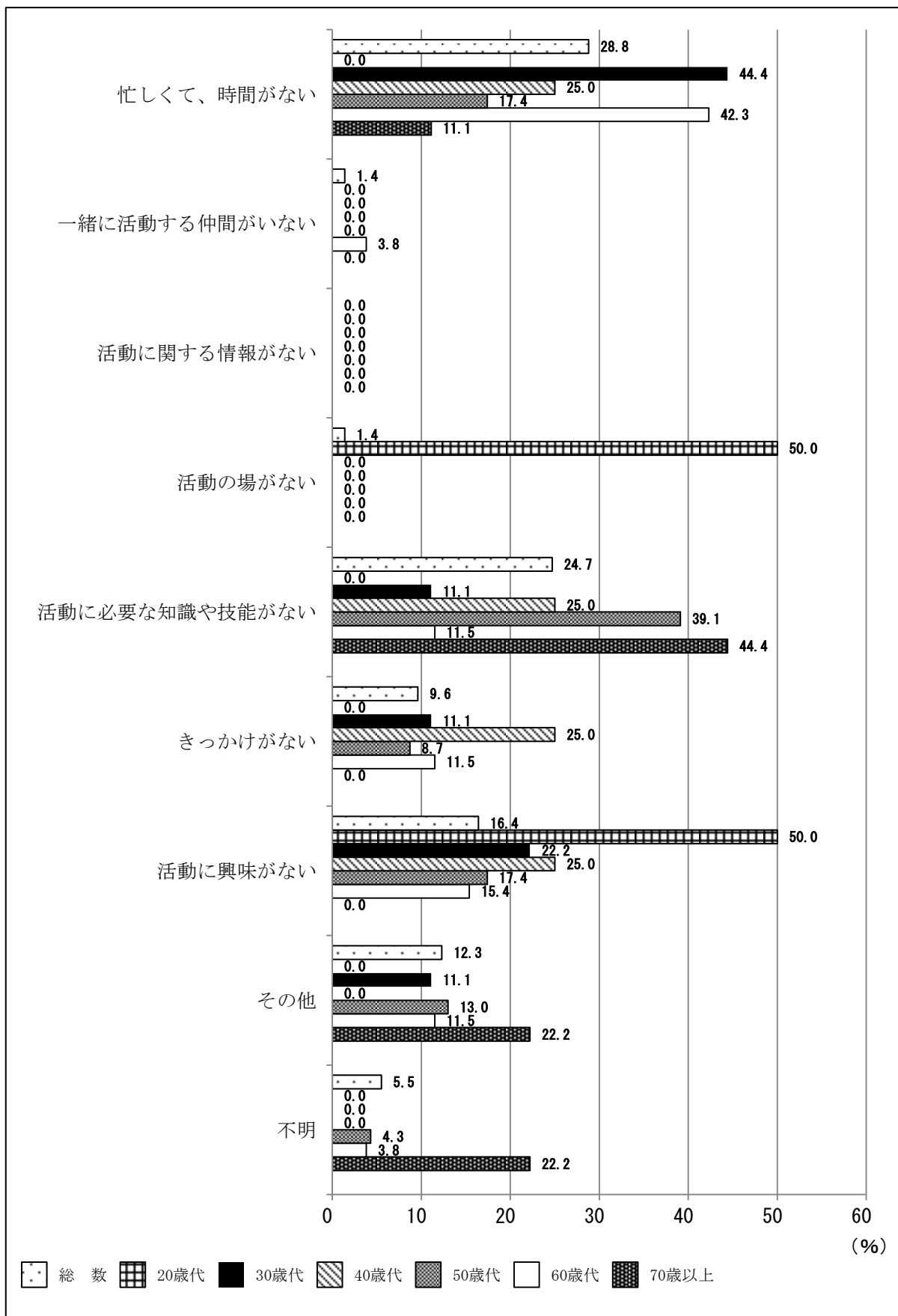
自らの学習成果を地域社会に役立てたいとは思わないと答えた人に、その理由を質問したところ、全体では「忙しくて、時間がない」が28.8%と最も高く、以下「活動に必要な知識や技能がない」が24.7%、「活動に興味がない」が16.4%などとなっています。

男女別で見た場合、男性は「忙しくて、時間がない」うえに「活動に興味がない」となっており、女性は「忙しくて、時間がない」、「活動に必要な知識や技能がない」が最も高くなっています。

<性別>



<年 代 別>



問18からは、再び全員にお聞きします。

問18 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 356人

<今回調査>

ボランティア活動の経験について質問したところ、全体では「ない」と答えた人が65.1%（「したことがない」48.0%+「したことはないが、機会があればやってみたい」17.1%）で、「ある」と答えた29.5%とは大きく差がついています。

男女別で見た場合、男性は「ない」と答えた人が60.0%（「したことがない」45.7%+「したことはないが、機会があればやってみたい」14.3%）で、「ある」と答えた人が33.6%となっています。女性は「ない」と答えた人が70.2%（「したことがない」50.2%+「したことはないが、機会があればやってみたい」20.0%）で、「ある」と答えた人が25.9%となっており、男性が女性を7.7%上回っています。

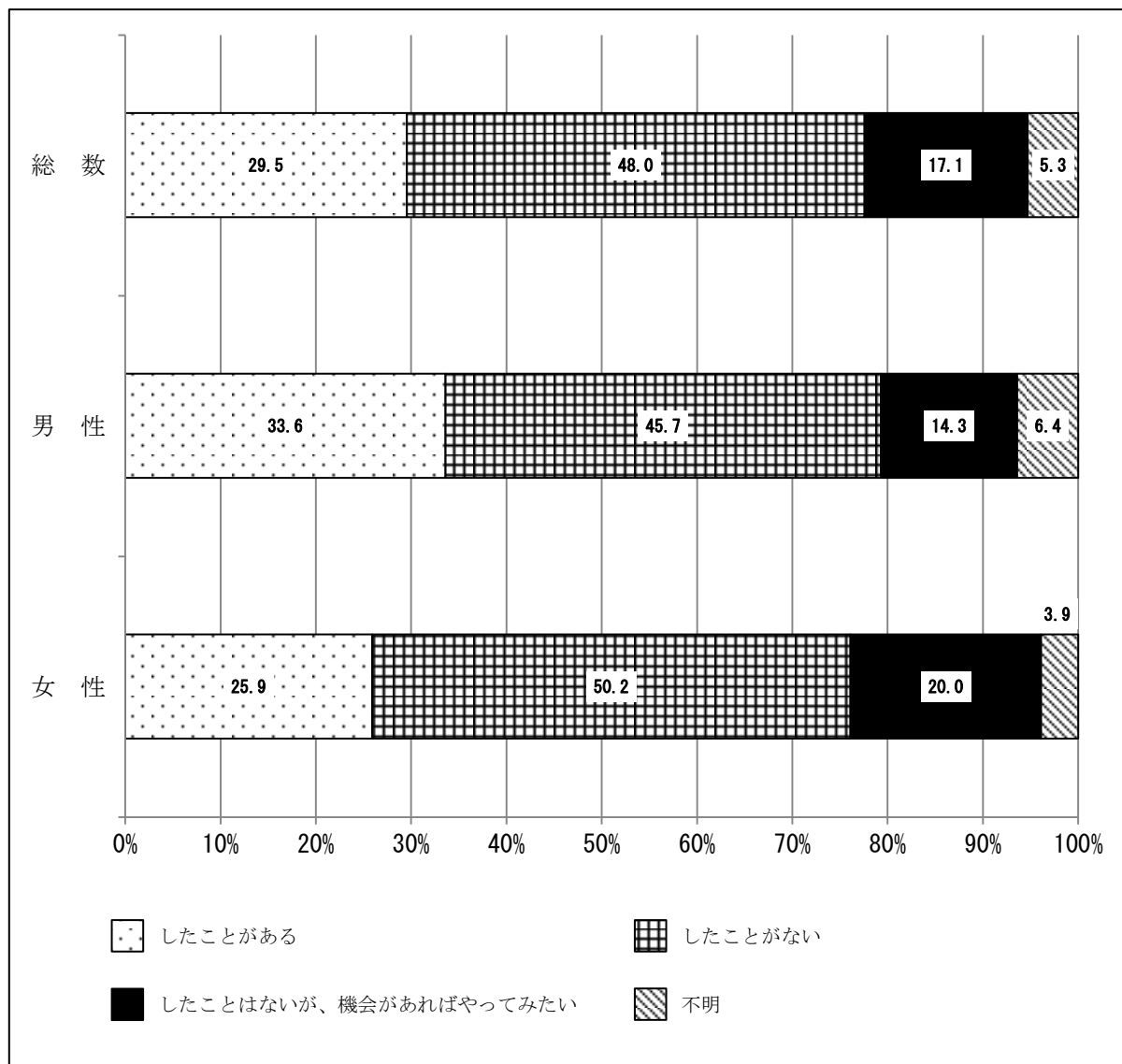
年代別で見た場合、「したことがある」と答えた人は、20歳代が54.5%と最も高く、以下30歳代が40.4%、70歳以上が35.7%となっています。「したことがない」と答えた人は40歳代から60歳代が高くなっています。

<前回調査との比較>

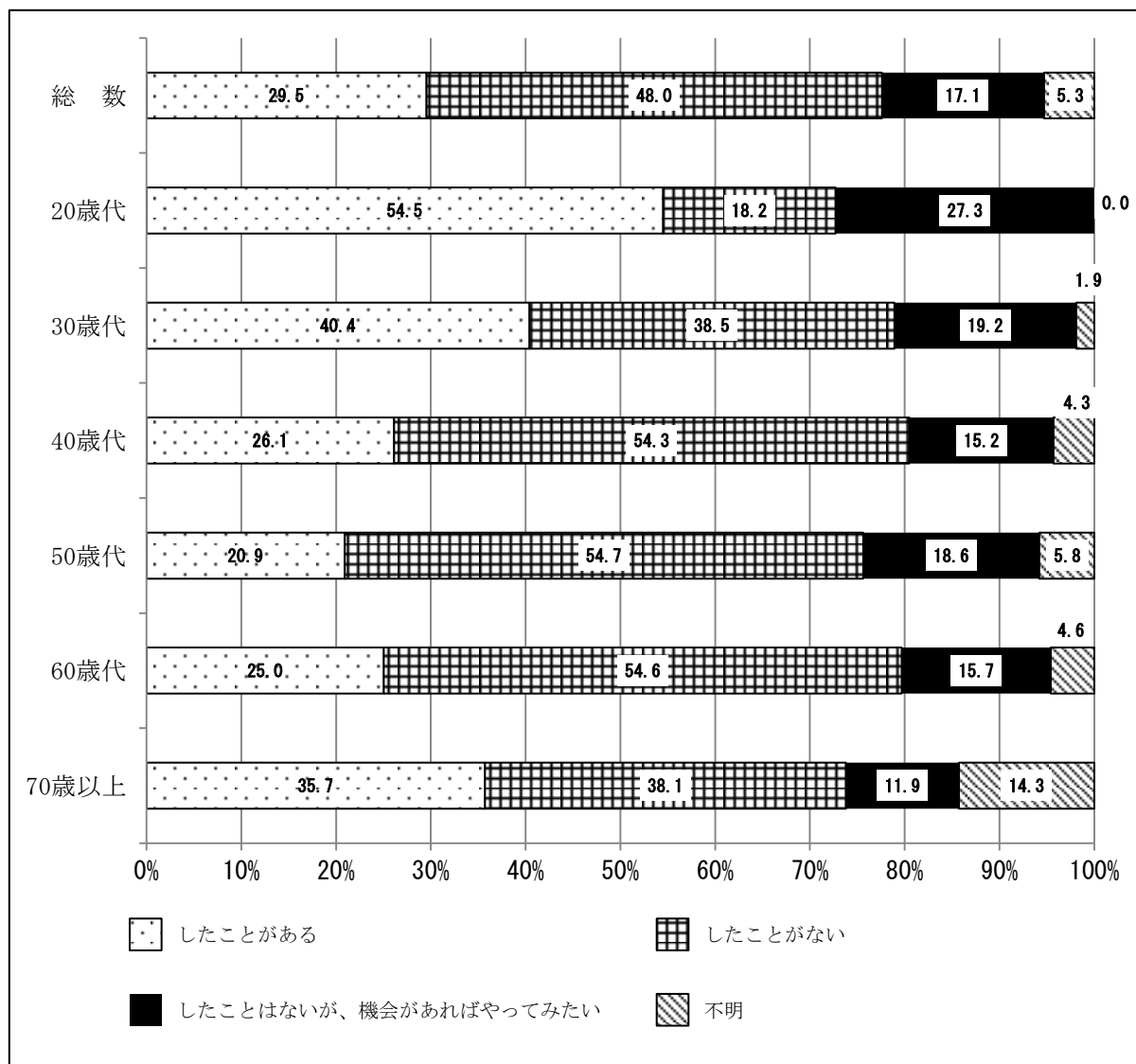
前回調査と比較すると、「ない」と答えた人が63.7%（「したことがない」46.9%+「したことはないが、機会があればやってみたい」16.8%）から1.4%増加の65.1%、「ある」と答えた人が31.5%から2.0%減少の29.5%となっています。

ボランティア活動を経験したことのある人の割合が、若干ではありますが少なくなっていますが、若い世代の20歳代は、45.0%から54.5%に、30歳代は、28.1%から40.1%と活動したことがある人や機会があればやってみたい人の割合は増加しています。

<性別>



<年 代 別>



問19 学習成果を活用する活動について、日ごろから思っていることや希望することは何ですか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 356人

<今回調査>

学習成果を活用する活動について希望することを聞いたところ、全体では「特にない」が36.8%で最も高く、次に「活動に関するグループや情報の提供」が28.4%となっています。

男女別で見た場合、男女とも同様な結果となっています。

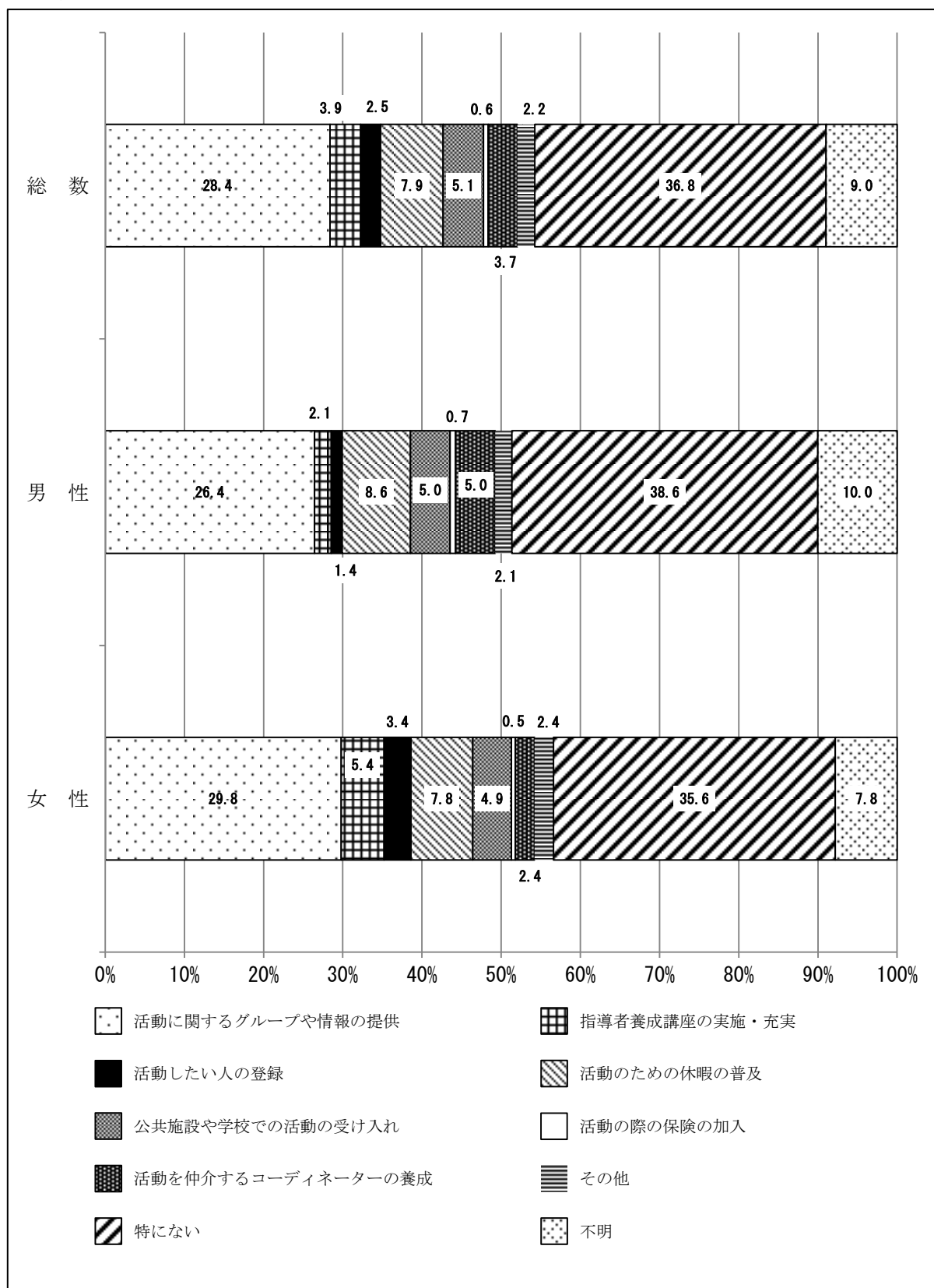
年代別で見た場合、各年代においてほぼ同様の結果となっていますが、20歳代と30歳代において「活動のための休暇の普及」、また、40歳代においては「公共施設や学校での活動の受け入れ」の回答率が高く、各年代の生活スタイルを反映し、活動のための時間や場所を現実的に求めています。

<他の調査との比較>

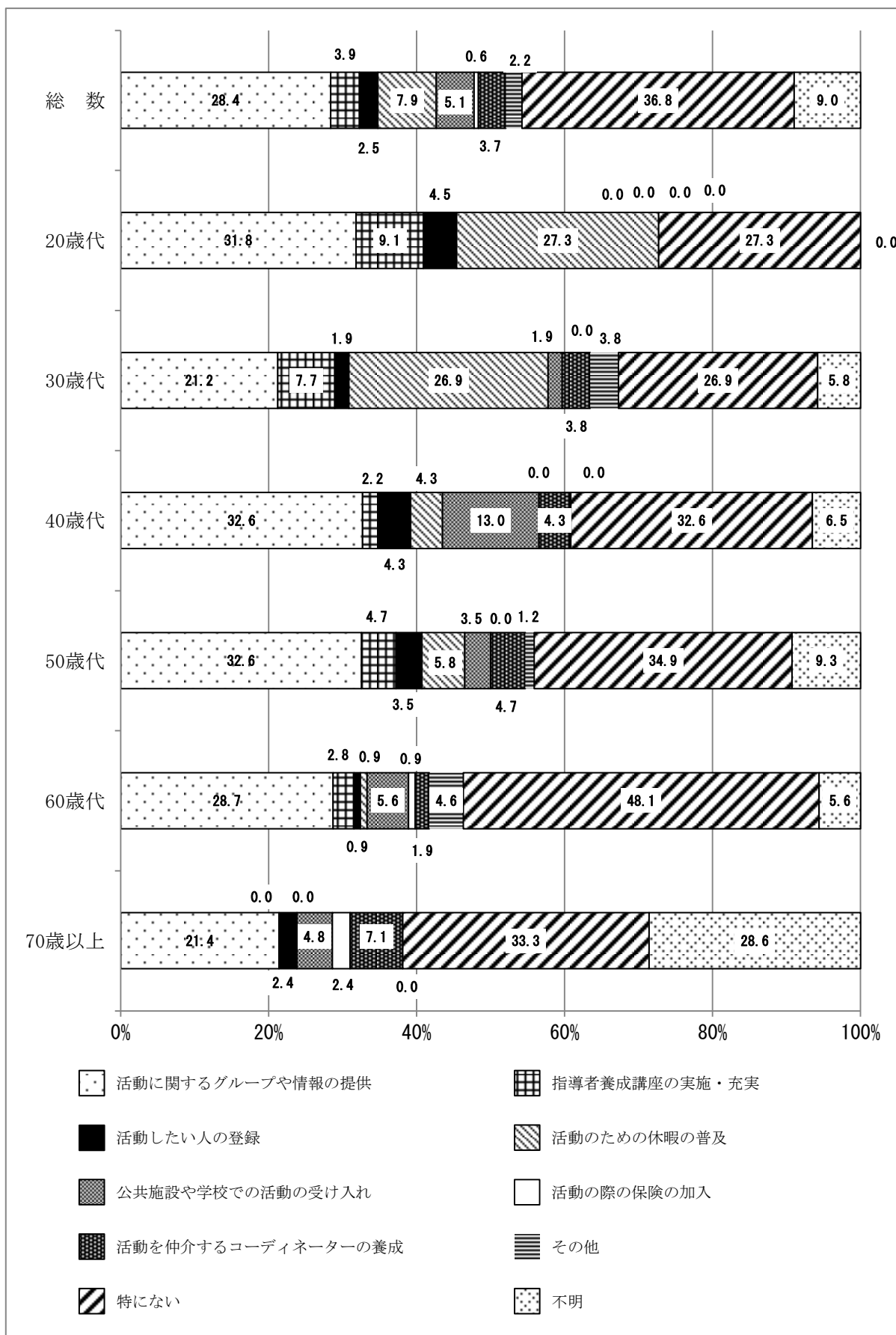
三条市の質問の仕方とは少し異なりますが、国の調査では、学習成果を生かすに当たり困っていることは何かを質問しています。その中で、「特に困っている点はない」が44.2%と最も高く、以下「生かすことが出来るまでの段階に到達していない」が27.2%、「身近で生かせる活動を見つけられない」が18.5%、「どのような活動に生かすことが出来るのかがわからない」が12.1%となっています。

情報提供に関する要望が高いことは三条市だけでなく全国的な傾向であることがわかります。

<性別>



<年代別>



問20 今後、みなさんの生涯学習活動をもっと盛んにしていくために、三条市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 356人

<今回調査>

全体では「生涯学習関連施設などにおけるサービスを充実する」が43.3%で最も高く、以下「住民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」が31.5%、「情報を一元化して提供するなど、現在あるいろいろな施設間の連携をとる」が24.7%、「ボランティア活動を支援する」が18.5%などとなっています。

男女とも1位2位は全体と同様です。男性の3位は「ボランティア活動を支援する」、4位は「情報を一元化して提供するなど、現在あるいろいろな施設間の連携をとる」となっています。女性の3位は「情報を一元化して提供するなど、現在あるいろいろな施設間の連携をとる」、4位は「学校の施設をもっと地域に開放する」となっています。

年代別で見た場合、各年代において「生涯学習関連施設などにおけるサービスを充実する」が最も高くなっています。また、20歳代、30歳代では「企業等の労働時間を短くしたり、生涯学習活動のための有給休暇制度などを普及させたりする」も高くなっており、生涯学習のための時間の確保を必要としています。

<前回調査との比較>

前回調査でも、「生涯学習関連施設などにおけるサービスを充実させる」が41.2%と最も高く、以下「情報を一元化して提供するなど、現在あるいろいろな施設間の連携をとる」が24.6%、「住民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」が22.4%となっています。今回、上位3つは変わりありませんが、住民のニーズや満足度を反映する要望が2位で31.5%と高くなっています。

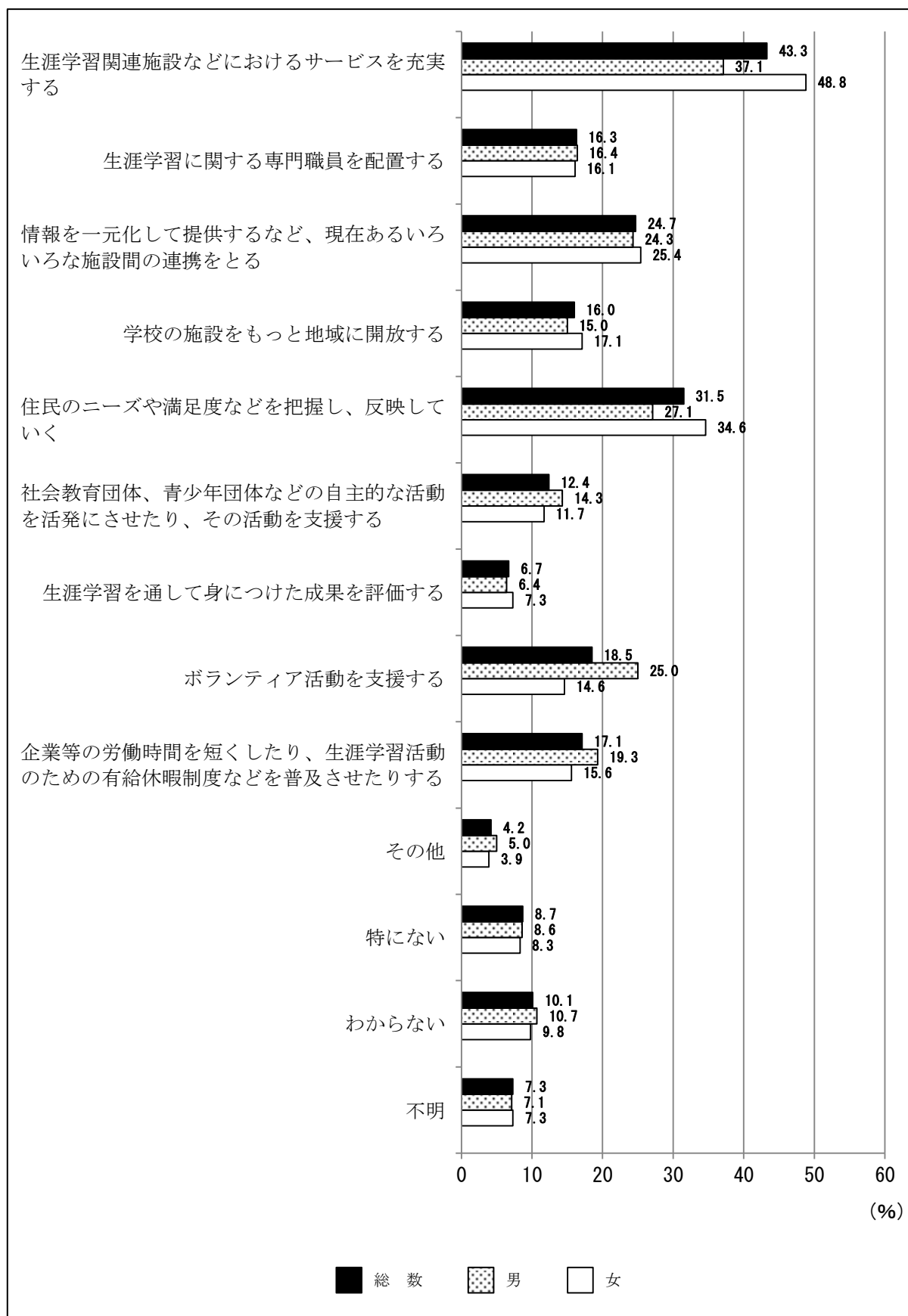
<他の調査との比較>

国の調査では、「公民館や生涯学習センターなど公の機関におけるサービスを充実する」が44.4%で最も高く、以下「生涯学習を支援する地域の人材を育成する」32.0%、「情報を一元化して提供するなど、生涯学習に関する情報を得やすくする」26.8%、「学校図書館やグラウンドなど学校をもっと地域に開放する」26.7%、「生涯学習に関する専門職員を育成する」25.5%となっています。

県の調査では、「生涯学習に関する情報の提供」が56.7%で最も高く、以下「高齢者の社会参加などの社会の要請や個々のニーズに応える学習機会や場の提供」が39.0%、「活力ある地域づくりのための取組の推進」が27.2%となっています。

情報提供や専門職員の育成といった要請は、全国的な傾向であることがうかがえます。

<性別>



<年代別>

